

これからを考える

支援の今を知る

高等教育における 発達性読み書き障害

—日本と英国の現状 から考える支援のあり方—

令和8年度第4回FD/SD研修会



10/21 水
15:00～17:00

対象

高等教育機関に
在籍する教職員
(定員: 先着500名程度)

方法

Zoom ウェビナー配信
文字通訳／手話通訳あり

参加費
無料

趣旨・目的

発達性読み書き障害（発達性ディスレクシア）のある学生への支援をテーマに、日本と英国における現状や課題を取り上げます。Assessment（評価）の考え方と、その結果を合理的配慮や学生支援へ結び付けるプロセスについて理解を深め、高等教育機関における支援のあり方を考えます。

プログラム

※講演は日本語で行われます。

- 開会・話題提供〈20分〉
「日本の高等教育機関における
発達性読み書き障害のある学生支援の現状と課題」
筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局
助教 横井美緒 氏
- 講演〈75分〉
「英国の高等教育機関における発達性読み書き
障害のある学生支援の現状」
- 質疑応答・閉会 〈25分〉

講師

Taeko N. Wydell
(タエコ・ワイデル) 氏



Emeritus Professor of Cognitive Neuroscience,
Brunel University of London (ブルネル大学 認知神経科学
名誉教授) EU招聘研究者としてヘルシンキ工科大学でMEG
研究に従事したほか、現在も日本を含む各国との国際共同研
究を行っている。British Neuroscience Association (英国
神経科学会) 地域代表 (2014～2023年) を歴任し、現在、
学術誌『Dyslexia』の副編集長。

お申込みは
こちらから



※ご都合の変更によるキャンセルのご連絡は不要です。
※見逃し配信のお申し込みについては、後日ご案内いたします。
※文字・手話通訳以外の情報保障等が必要な方は、お気軽にご相談ください。

申込締切
10/19 まで

☎ **029-853-3889**

E-mail : radd-info@un.tsukuba.ac.jp

BHE ヒューマンエンパワーメント推進局

URL : <https://forms.cloud.microsoft/r/ncz5CAimYc>